

第三十一代駐屯地司令

湯布院

第 52 号

発行者・由布市湯布院町川上
発行・湯布院駐屯地後援会
印刷所・大野印刷株式会社



三宅優一等陸佐着任

三月二十八日(金)、第七代西部方面特科隊長兼ねて第三十一代湯布院駐屯地司令として三宅優一等陸佐が着任した。

三宅優一等陸佐は、第六地対艦ミサイル連隊長、第十二旅団幕僚長、研究本部研究開発企画官、福岡地方協力本部長等の要職を歴任された。
着任式では、西部方面総監部防衛副長(河本宏章陸将補)より三宅一佐の紹介が行われ、その中で「我が国防衛の最も重要正面を担任する特科部隊に、自衛隊の幅広い分野に精通し、特科部隊勤務及び部隊長の経験とされた、高邁な人格と卓越した識見を持つ三宅一佐を方面特科隊長として迎えることは、西部方面隊として誠に喜ばしく、かつ極めて心強く感じる次第です」と述べられた。

また、三宅一佐は着任の際において特科隊長として「あくなき執念を燃やせ」を要望し、歴代の隊長のもと、非常に厳しい訓練、あるいは研究を実施してきているが、更に深めるためには各幹部のあくなき執念を燃やし、常に一歩リードをする立場に立つて任務を遂行すると述べられた。

ともに、この西部方面特科隊が全国をリードする特科部隊になることを目標として、隊長として頑張っていくのでよろしく頼む」と抱負を語った。その後、顧問官(前隊長、准二等陸佐)の指揮で各部隊は堂々の行進を実施した。
着任式終了後は、幹部挨拶と状況報告が実施され、各部隊の現況を確認した。



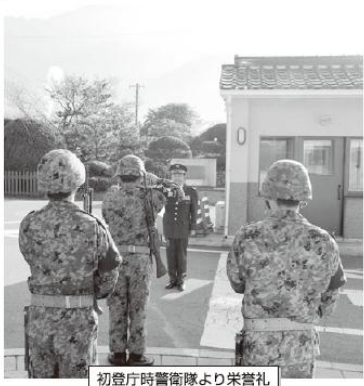
状況報告



幹部挨拶



着任式・巡閲



初登庁時警衛隊より栄誉礼

第三十代駐屯地司令 渡邊金三一等陸佐離任



三月二十六日(水)湯布院駐屯地において、第六代西部方面特科隊長兼ねて第三十代湯布院駐屯地司令として勤務された、渡邊金三一等陸佐の離任式が挙行された。
渡邊一佐は、平成二十四年七月に着任され約一年八ヶ月の間、駐屯地のために尽力された。特に特科隊長として「誇りと自信」「やるべき事をしっかりとやる」を要望し、部隊の精強化のため多大な成果を取られた。また、駐屯地司令要望事項の一つである「地域と共に歩む駐屯地」については、部外行事等に積極的に参加され広報活動を通じた地域との相互理解を深め、防衛基盤の強化に多大な貢献をされた。
この度、三月二十八日(金)付で陸将補に昇任され、自衛隊情報保全隊司令として転出された。
今後の、渡邊陸将補の新任地での活躍と健勝を祈念致します。



第五地対艦ミサイル連隊長視察



離任式・巡閲



見送り

西部方面特科隊
本部長 藤田 茂
一等陸尉 縫田 茂



駐屯地業務隊

演習場全域野焼き協力

四月十七日(木)、三月から天候不順で延期になっていた日出生台演習場の周辺自治区が実施する演習場全域野焼きに岡崎隊長以下一二十六名(西特隊、西方ヘリ隊等)が協力した。

当日は演習場定期整備の整備隊長完成点検日とともに、天候も夕方から雨の予報であったため、整備隊及び周辺自治区との調整により、十二時に火入れする事ができ、一件の事故もなく終了した。



野焼き中の状況

編成完結式

日出生台演習場定期整備支援



防衛副長への演習場説明



防衛副長管理班視察受

四月九日(水)～十七日(木)の間、平成二十六年度第一次日出生台演習場定期整備において、渉外、資材搬出入浴、燃料、糧食、外來宿泊等の業務支援を実施した。

また、方面防衛副長の定期整備視察に併せ、横田少佐像への献花及び演習場管理班の視察を受けた。



資材等払出支援

演習場関係調整委員会参加

三月七日(金)、日出生台演習場関係調整委員会に参加し、事前会議の調整結果に基づき整齊・円滑に委員会を終了した。また、会議後に自衛隊、自治体、地域住民(自治委員)による意見交換会を実施し、親睦を図った。



本会議



意見交換会

演習場関連行事等

四月二十二日(火)の監視員委員会において連休間の演習場使用状況、鳥獣害の状況等の説明を実施した。また、五月十三日に小野原地区が実施した馬頭観音祭に参加し、地域住民と交流を回り日出生台演習場の長期安定使用の醸成に努めた。



演習場監視委員会(1四)の実施



馬頭観音祭参加

演習場鳥獣害対策

三月十三日(木)、大分県鳥獣害対策会議に演習場渉外班長が参加した。今年度から由布市湯布院町が新たに箱わなを設置する事が決まった。

四月二十一日(月)、箱わな設置場所の現地確認を大分県、由布市、玖珠町、九重町の担当者、地元猟友会と実施した。



鳥獣害対策会議(3月)

厚生業務

四月一日(火)、自衛官候補生五十八名に対して、防生協、団体生命保険会、社員及び弘済企業による共済・生協及び保険について説明会を実施した。団体生命保険については、加入率100%の成果を得た。



説明を受ける自衛官候補生

各種業務



事務官初任時研修支援



定期健康診断(4月～5月)



春の交通安全運動参加(車両点検する輸送班)



当直勤務要員に対する救急車への搭載、卸下教育



FCCS保管庫新設工事開始



3尉候補者選抜筆記試験管理

事務官等の定期異動

転入



村尾 綾佳 (新規採用) 藤門 未来 (鳥松) 井川 力也 (えびの) 川頭 融 (小郡) 福山 圭介 (飯塚) 笠井 弘幸 (飯塚)

臨床心理士 貯金係 管財主任 工事企画係長 共済係長 共済班長

転出



北里 昌博 (福岡) 伊地知 崇 (目連原) 西元 美緒 (えびの) 房村 伸一 (那覇) 宮本 浩幸 (南別府)

新部隊長の紹介



第一〇三施設直接支援大隊 第一直接支援中隊湯布院派遣隊

陸曹候補生を受験して

私は今回初めて陸曹候補生一次試験に合格し二次試験を受験しました。そこで自分が感じたことや、経験したことについて述べようと思います。

一次試験は、筆記試験、体力検定があり、筆記試験については、講義時間等といった教官、助教の指導の基、出題される問題をひたすら解き続けることで知識向上し筆記試験に万全を期すことができました。体力検定についても、苦手とする種目を克服するため、就寝前等を利用して、苦手な腕立て伏せを実施しました。結果、体力検定においては、受験者の中で2位という成

松本健太郎

〔前勤務地〕
東部方面後方支援隊
富士教育直接支援大隊
〔富士〕

〔要望事項〕
積極支援
相互協力

第三六八施設中隊



中隊は平成十五年三月、第三四四施設中隊から第三六八施設中隊へと改編され、今年で十二周年を迎え、四月二十六日(土)に多くのOBの方々の臨席の下、十一

周年記念祝賀会の開催と中隊記念誌を発刊した。原隊である第三四四地区施設隊からの伝統を受け継ぎ、第二施設群の機力を発揮して交通作業を担う幹部隊として、また、大分県唯一の施設科部隊として、施設技術を発揮できるよう練成を図っているところ、十一周年祝賀会と記念誌を通じて、更に中隊の歴史を知ること、中隊の伝統を感じ、先輩から学び、今後の練成訓練や隊務に望む決意を深めた。

第一〇一特科直接支援隊

私は、平成二十六年五月

七日(水)から五月九日(金)の間、大矢野原演習場で実施された第二次隊訓練に参加しました。

第一次隊訓練では隊員の基礎的動作、車両の偽装、歩哨等の野外勤務などを主に演練しましたが、今回は展開地までの移動及び展開地内での行動を主に訓練されました。私は先発隊員として参加し、展開地への進入、察敵、指揮所開設、有線構成、主力受入等の一連の動作を演練しました。久々の先発隊員としての訓練といこともあり、緊張や不安があったものの、先発隊員の指導のもと作業を進め、行くうちに、徐々に今までの経験を出し出すことができ、スムーズな動作が

来るようになりました。また、今回初めて有線構成や、汚染地域での除染作業にも参加することが出来ました。展開の防護衣、防護マスクを装着しての作業は非常に辛いものがありますが、経験になったと思います。



い評価が得られるよう、自学研鑽に努めて行こうと思います。
第一〇一特科 直接支援隊
陸士長 三森 和也

第三〇四基地通信中隊



第一〇三施設 直接支援大隊
陸士長 山田 祐聖

基地通信隊では今年度より、小銃・防護マスク・戦闘用防護衣の更新があり、四月十四日(月)・十五日(火)の二日間、わたり、分解結合、ガスマスク・防護衣の装着訓練及び整備を実施した。

私を含む若年隊員は、教育隊で89式小銃を使用していたため、小銃だけはスムーズに分解結合することができ、64式小銃に長年親しんできた、多少少戸臭い気味の先鋒方に対しては、要点を掴んだアドバンスができたと思ふ。ガスマスクは、八秒以内の装着が以前より難しくなっており、これからまた復演練が必要だと実感した。



私も二週間間後には小銃が変わってからの射撃を控えている。武器と同様に気持ちも新たに規定に挑み、まずは良好な成績を残し、装備品の早期戦力化に一歩近づきたいと思う。

第三〇四基地通信中隊
陸士長 山下 亮介

曹友会

「清掃ボランティア」

駐屯地曹友会は豊後地区曹友会と共に、二十六年五月十一日に開催される由布岳山開き祭にあわせ、五月十日周辺道路の清掃を実施した。約5kmの道路沿いのごみを収集し、可燃物十九袋、不燃物二十袋、合計三〇〇kgのごみを収集した。



ゴミを見逃すな



回収されたゴミ



集合記念写真

二十六年度モニター紹介

四月五日(土)湯布院駐屯地において、平成二十六年度防衛・駐屯地モニター委嘱式が行われ、三宅司令より委嘱状が贈呈されました。また、三月二十日(日)には、二十四年度から防衛モニターとして協力頂いた方と、二十五年度駐屯地モニターとしてご協力頂いた方々に、それぞれ委嘱状を贈呈し、証書が贈呈されました。モニター期間中、貴重なご意見等頂き、誠にありがとうございました。それぞれの期間大変お疲れ様でした。



- 山口 真弓 様(由布市)
 (駐屯地モニター)
 伊藤 美和 様(由布市)
 浦田 政秀 様(由布市)
 後藤 昌人 様(大分市)
 田中真知安 様(由布市)
 那須 良道 様(由布市)

各種武道大会の成果

第三〇一観測中隊の川浪純之三曹は、二月十五日(土)自衛隊体育学校で実施された、第二十三回陸上自衛隊剣道大会の団体戦において、方面剣道集合訓練隊の選手として出場し見事優勝、西部方面監より褒賞された。



表彰される川浪三曹
 奮闘する中島三曹

四月二十日(日)日本武道館で実施された、第五十八回全日本統剣道優勝大会、防衛省第二部に湯布院予ムが参加し、ベスト8の成果を残した。

三月九日(日)から三月十日(月)明鏡で実施された、第三十回全自衛隊拳法選手権大会に二名の選手が個人戦に参加した。

後期定期表彰者の紹介

- ◆三級賞詞(職務遂行)
 特科隊本部
 三尉 勝田 和彦
 二尉 首藤 政昭
 曹長 横尾 英二
 第三〇二観測中隊
 三尉 阿南 雅満
 駐屯地業務隊
 三尉 前山 勝弘
- ◆四級賞詞(職務遂行)
 隊本部
 三佐 石橋 正
 一尉 明石 猛
 一尉 柏木 佳規
 木村 輝久
 本部中隊
 二尉 深水 伸哉
 曹長 山下 直宏
 一曹 古庄 輝雄
 一曹 寺岡 賢
 二曹 高田 隆弘
- ◆第一二特科大隊
 二尉 本多 亮一
 二尉 山本 一真
 二尉 木村 孝広
 二曹 高濱 安彦
 三曹 津田 芳朗
 三曹 内村 健二
 三曹 出口 晋大
- ◆第一三特科大隊
 一尉 三好 大樹
 一尉 玉井慎太郎
 二尉 河野 忠新
 曹長 吉田 宏
 一曹 高治 剛
 三曹 山口 圭一
 三曹 徳丸 敬祐
- ◆第三〇二観測中隊
 二尉 長崎 勝
 曹長 志手 藤則
 一曹 高森 浩
- ◆第一〇一特科直接支援隊
 監督 曹長 池田正広
 (中量級)
 二曹 梶原直人
 ※健闘したが初戦負
 二曹 工藤将敬
 ※ベスト8で敢闘賞
 (軽量級)
 二曹 山本史人
 ※おしくも三回戦負
- ◆第一二特科大隊
 一尉 米合美智男
 二曹 陶山 英二
 二曹 馬谷 徹
 三曹 宮崎 慎一
 三曹 山下 慎悟
 三曹 山内 一郎
- ◆第一三特科大隊
 一尉 長友良一樹
 二曹 佐藤 勇
 三曹 安永 光宏
 三曹 野上 智宏
 三曹 相沢 雄太
 三曹 大石 特別
 三曹 梶原 真樹
- ◆第一〇一特科直接支援隊
 二尉 青木 卓也
 三尉 上村 淳
 三曹 清田 耕作
 三曹 藤本 真己
 三曹 福井 総
 三曹 江下 栄朗
 三曹 中原 成明
- ◆第三〇四基地通信隊
 士長 山下 亮介
 駐屯地業務隊
 准尉 斉藤 賢季
 一曹 日高 康二
 一曹 森口 正幸
 二曹 福丸 裕之
 行(-)3 伊地知 崇
 行(-)3 房村 伸一
 行(-)2 西元 美緒
- ◆四級賞詞(車両無事故)
 第三六八施設中隊
 二曹 飯野 俊介
- ◆五級賞詞(車両無事故)
 本部中隊
 二曹 渡邊 卓也
 二曹 木村 孝広
 二曹 堤 大海
 三曹 川野 智之
 三曹 熊谷 秀憲
 第一〇一特科直接支援隊
 二曹 津崎 崇

第四師団長表彰

五月二十五日(日)福岡駐屯地において第四師団創立記念行事が挙行政され、西部方面特科隊・第三特科群OB会相談役穴井憲八氏が、地域住民と部隊との関係発展を図られた功績として、第四師団長より感謝状を授与されました。



昭和六十一年、高校卒業後民間で働いた後、昭和六十二年十一月国分駐屯地に入隊した。冬降の入隊なので、毎日寒い中、基本教練や戦闘訓練を繰り返した。特に、匍匐前進では固む草もなく、装軌の跡の残るデコボコの地面に頭をこすりつけながら行った記憶が今も残っている。また、校島に近く夜中に噴火した時その音と衝撃で飛び起きたこともあった。前期教育が終わる、後期は湯布院に決まった。大分といわれたが当時は別府しか知らなかったがいざ来てみると山の中、民家も少ない田舎町、雪降る中着陸した時は心が折れそうになった。程なく後期教育も終わり現在の中隊(当時一一一大隊)に配属された。将来に独立資金を貯めるため、自衛隊に入隊したが、あまりの居心地の良さに陸曹となり現在に至っている。自衛隊生活も二十六年が過ぎ、本投稿にあたり昔を振り返って懐かしかった。残り数年の自衛隊生活、今の自分のまま頑張ってくださいと思います。今後ぜひともよろしくお願いいたします。

みんなの投稿広場
 私のお父さん
 私のお父さんは、昨年八月からゆふいんに行つてもう少しで一年がたちます。あそぶときは土曜日と日曜日しかありません、帰って来るのが私にとってうれしくて、お父さんに算数のペンキようを覚えてもらったり、ボールけりをしてあそんだりしています。だから、わたしもサッカーを習いたいと思います。お父さんは、じゅうどうが大好きで、一番上のお兄ちゃんのことじゅうどうのしあがあたりするときは、家族といろんな所におうえんに行きます。お父さん、お仕事にがんばって早く熊本に帰ってきてほしいです。

昇任者の紹介

- ◆三等陸尉へ
 第一三三特科大隊
 中野さわか
 梅山 剛宏
 小山 晃弘
- ◆第三〇二観測中隊
 五十嵐圭輔
- ◆陸曹長へ
 第一二二特科大隊
 池邊 尊明
- ◆第一〇一特科直接支援隊
 立石 貴久



第一三三特科大隊 本管中隊
 陸曹長 三島 忠之

春風コンサート



西部方面特科隊音楽部は、各協力団体協賛の第九回春風コンサートを、三月十五日(土)由布市振興町はさま未来館において、目達原駐屯地音楽部及び第四十一普通科連隊音楽部(別府)の支援を受け盛大に開催した。

会場は、由布市教育委員長(清水直孝氏)をはじめとする

来賓の方や、演奏会を楽しみに訪れた約五〇〇名の聴衆で埋め尽くされた。

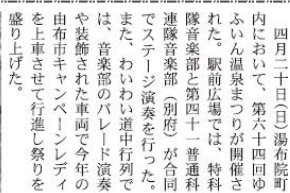
今回は「春風に乘って」をメインテーマに、一部「春の響」二部は「つらつら」を響「親しみの三部構成で実施され、去年のアンケートで多数のリクエストがあった日本民謡メドレーを取り入れ演奏したり、大分県立由布高等学校と由布市立抜開中学校の吹奏楽部の若さ溢れる軽快な演奏も披露された。また、第一部では、由布市の振興幼稚園と谷幼稚園が合同で曲に又を披露する場面もあり、客席からは盛大な拍手が沸き起こった。

全ての演奏が終了するとアンコールの音が会場に響き渡り、AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」が流れ出すと、ステージに

四月二十日(日)湯布院町内において、第六回開国ゆいん温泉まつりが開催された。駅前広場では、特科隊音楽部と第四十一普通科連隊音楽部(別府)が合同でステージ演奏を行った。また、わいわい道中行列では、音楽部のパレード演奏や装飾された車両で今年の由布市キャンペーンレディを上手らせて行進し祭りを盛り上げた。



三月八日(土)西部方面特科隊は、竹田市で行われた開国ゆいん温泉まつりの支援に、部隊が装備するWAPC(装輪装甲車)を展示し祭りの盛況に寄与した。この日は、天候にも恵まれたため、大勢の来賓が訪れた。また、目達原駐屯地の音楽部が、写真撮影のたまり手を触れたりなどして、興味津々の様子だった。



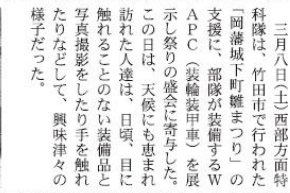
由布岳山開き祭

湯布院温泉まつり

竹田市雛まつり

退官者紹介

慶 弔



★長年の勤務お疲れ様でした★

六月九日(月)湯布院駐屯地において、自衛官候補生課程修了試験の基本教練が行われるなか、候補生の出身高校教諭六名(日田林工高等学校・森高等学校・楊志館高等学校・由布高等学校・山香農業高等学校・竹田南高等学校)が教育訓練状況の見学に訪れた。教え子達の元気な姿と節度ある動作を目のあたりにし、彼らに成長を感じた先生方に試験終了後、候補生連に笑顔で近づき寄り添いたいという思いを込めて、退官者紹介では当時の思い出などを語り

高校教諭が激励

訪れた先生からは、「一見感えるほど、成長した姿に感動しました。」等の声が寄せられた。

りやかな雰囲気でも話し

◆御結婚おめでとう

第一二特科大隊 曹長 池邊 尊明
第一二特科大隊 曹長 三澤 秀幸
第一二特科大隊 曹長 伊野 勉也
第三〇二観測中隊 曹長 板橋 達太郎
第三〇二観測中隊 曹長 松藤 一輝
駐屯地業務隊 行(2) 清田 美幸 (旧姓・儀田)
駐屯地業務隊 行(2) 矢野 友裕

七月から十月までの紹介

★駐屯地創立記念行事(八月四日)
(夏期家族間コミュニケーション行事)

★駐屯地創立記念行事(十月二十六日定)

沢山のこ米場を隊員一同お持ちしております

◆御出産おめでとう

第一二特科大隊 曹長 太郎良康平(二男・元翔)
第一二特科大隊 曹長 菅原 康裕(長男・持史)
第一二特科大隊 曹長 黒木 大輔(長男・新太郎)
第一二特科大隊 曹長 宮崎 慎一(長女・梨杏)
第一二特科大隊 曹長 出口 恵貴(長男・陽暉)
第三〇二観測中隊 曹長 和田 英樹(長男・智己)
第三〇二観測中隊 曹長 日名子貴志(長男・智己)
第三〇二観測中隊 曹長 諏訪 裕之(長男・晴道)
第三〇二観測中隊 曹長 高木 仁勇(長女・理愛)
第三〇二観測中隊 曹長 小倉 健志(長男・愛理)
第三〇二観測中隊 曹長 西郡 修(長女・叶菜)

◆お悔やみ申し上げます

曹長 高島 伸治(祖母)
曹長 中島 克典(実父)
曹長 黒木 大輔(祖母)
曹長 梅山 剛宏(祖母)
曹長 藤井 一宏(義祖母)
曹長 山代 誠(祖母)
曹長 古賀 義人(祖父)
曹長 野口 裕次(祖母)
曹長 山内 隆司(祖母)
曹長 東 直美(祖母)
曹長 松崎 裕明(祖母)
曹長 山本 道夫(実父)

◆御出産おめでとう

第一二特科大隊 曹長 池邊 尊明
第一二特科大隊 曹長 三澤 秀幸
第一二特科大隊 曹長 伊野 勉也
第三〇二観測中隊 曹長 板橋 達太郎
第三〇二観測中隊 曹長 松藤 一輝
駐屯地業務隊 行(2) 清田 美幸 (旧姓・儀田)
駐屯地業務隊 行(2) 矢野 友裕

今すぐアクセス → 湯布院駐屯地 検索

新着任大隊長の紹介



第一二特科大隊長
二等陸佐 山本英一郎
特科隊本部(湯布院)
要望事項
やるべきことをやる

新着任中隊長の紹介



第一三二特科大隊長
本管中隊長
一等陸尉 明石 猛
特科隊本部(湯布院)
要望事項
役割を果たせ



第一三二特科大隊長
第一中隊長
一等陸尉 黒木 大輔
前勤務地
第十三特科隊(日本原)
要望事項
明日、出勤しよう

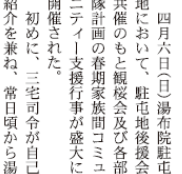


第一三二特科大隊長
第二中隊長
一等陸尉 飯野 利生
前勤務地
大隊本部(湯布院)
要望事項
伝統の継承・挑戦



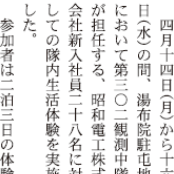
幹部任官行事
三月二十四日(月)西部方面特科隊は、幹部任官者(六名)を、(六)登山)を実施した。
任官者は、午前二時に駐屯地正門を出発、由布岳西登山口から暗い登山道をライイトの明かりを頼りに足場を確認しながら順々と前進し、由布岳の頂上を目指し、頂上に到達すると、御来光詣拝行事が行われ任官者

観桜会 春季家族間コミュニケーション



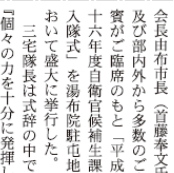
四月六日(日)湯布院駐屯地において、駐屯地後援会共催のもと観桜会及び各部隊計画の春期家族間コミュニケーション支援行事が盛大に開催された。
初めに、三宅司令が自己紹介を兼ね、常日頃から湯布院駐屯地に対して協力をいただいている協力団体にお礼の挨拶を述べた。次に共催者である駐屯地後援会会長(岩男裕二郎氏)が「父兄会や関係団体の皆さんが、常に湯布院駐屯地を盛り上げることが、由布市の発展につながると思います。今日は、綺麗な桜と雪と由布岳を見ながら、楽しみましょう」と挨拶を述べた。

生活体験入隊



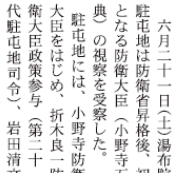
四月十四日(月)から十六日水の間、湯布院駐屯地において第三〇二観測中隊が担任する、昭和電工株式会社新入社員二十八名に対しての隊内生活体験を実施した。
参加者は二泊三日の体験のなかで、基本動作及び団体の行動等を行い社会人としての規律やマナー、団結力の大切さを学んだ。慣れない動作や号令に初めは少し戸惑っていたが、支援助教の指導に参加者の向上心も加わり、大きな声で指導とれるようになった。所見では、「良い体験ができました。色々と指導して下さり、感謝しています」と好評な意見が寄せられた。

自衛官候補生入隊式



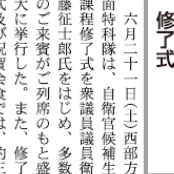
四月五日(土)西部方面特科隊隊長三宅一等陸佐は、大分県選出の国会議員二名をはじめ、由布市防衛協会会長由布市長(首原泰文氏)及び部内外から多数の来賓がご臨席のもと「平成二十六年年度自衛官候補生課程入隊式」を湯布院駐屯地において盛大に挙行了した。
三宅隊長は式の中で、「個々の力を十分に発揮し、切磋琢磨して頑張ってもらいたい。そして、夢をもってもらいたい。幕末に活躍した長州藩吉田松陰の言葉に、「夢なき者に成果なし」とあるようにこの教育期間とを励み、夢をもりたい」と激励した。

防衛大臣視察



六月二十一日(土)湯布院駐屯地は防衛官昇格後、初となる防衛大臣(小野寺五典)の視察を受けた。
駐屯地には、小野寺防衛大臣をはじめ、折木良一防衛大臣政策参与(第一一代駐屯地司令)、岩田清文陸上幕僚長、番匠西部方面總監等が来隊され、当初三宅駐屯地司令による状況報告を受け部隊の現況を確認された。引き続き記念撮影、訓練展示を視察された後、駐屯地全隊員に対して訓示を頂いた。訓示のなかで防衛大臣は「新たな防衛大綱及び中期防衛力整備計画に基づき、幅広い後方支援基盤の確立に留意しつつ、高度な技術力と情報、指揮通信能力に支えられ、ハード・ソフトの両面で、即応性、持続性、強靱性、連防性を重視した「統合機動防衛力」の構築に取り組み、諸君とともに、国民の生命、財産、我が国の領土・海域、領空を断固として守り抜く所存である。諸君は、まさに「現代の防人」として、今後とも強い使命感を持ち、西部方面特科隊長兼湯布院駐屯地司令三宅優一等陸佐の指揮統率の下、一致団結し、防衛官・自衛隊に対する国民の高い期待と信頼に一層応えられるよう、引き続き任務に精励されることを切に望む」と述べられ全隊員を激励し、駐屯地を後にした。

修了式

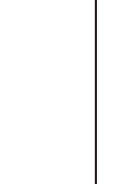


六月二十一日(土)西部方面特科隊は、自衛官候補生課程修了式を衆議員議員衛藤征士郎氏をはじめ、多数のご来賓がご列席のもと盛大に挙行了した。また、約三ヶ月の課程教育を終えた候補生達の見送る程成長した姿をみて、ご来賓とご家族の方々は大変感動されていた。候補生達は今後、湯布院駐屯地及び九州管内の部隊にそれぞれ転任し約三ヶ月間の特技課程教育を受ける。今後の更なる成長と活躍に期待します。

入隊式



六月二十一日(土)西部方面特科隊は、自衛官候補生課程修了式を衆議員議員衛藤征士郎氏をはじめ、多数のご来賓がご列席のもと盛大に挙行了した。また、約三ヶ月の課程教育を終えた候補生達の見送る程成長した姿をみて、ご来賓とご家族の方々は大変感動されていた。候補生達は今後、湯布院駐屯地及び九州管内の部隊にそれぞれ転任し約三ヶ月間の特技課程教育を受ける。今後の更なる成長と活躍に期待します。



平成二十五年 後期転出入

転入者の紹介



二佐 (富士) 藤本 政勝



三佐 (市ヶ谷) 竹尾 五可



(小牟) 小坂 章雄



一曹 (鳥栖) 薬師寺 秀典



一曹 (以珠) 久保 勝一



一曹 (富士) 西平 茂己



二曹 (久留米) 立田 英慈



(小牟) 徳丸 孝巳



一曹 (市ヶ谷) 松岡 洋



二曹 (富士) 佐藤 圭三



二曹 (富士) 堤 俊輔



二曹 (熊毛) 西 高広



一尉 (富士) 石橋 佑太



二曹 (富士) 小野 拓徳



二曹 (富士) 柴川 祥吾



二曹 (久留米) 梅崎 幸春



二曹 (熊毛) 田上 秀信



三尉 (大村) 宮田 政也



一曹 (飯塚) 奈良進一朗



二曹 (飯塚) 加藤 英樹



二曹 (飯塚) 谷丸 徳一



二曹 (飯塚) 川本 真一



二曹 (飯塚) 池田 親夫



二曹 (飯塚) 佐藤 清士



三曹 (飯塚) 中村 宏



三尉 (北熊本) 川野 和哉



三尉 (別府) 伊東 景仁



一曹 (相浦) 岩持 幸一



二曹 (佐賀) 中原 裕二



二曹 (佐賀) 木津 教幸



二曹 (富士) 平田 幸博



一曹 浅原 浩介



士長 (以珠) 玉ノ井 大生



曹長 (別府) 山田 守相



一曹 (久留米) 吉田 竜一



二曹 (飯塚) 西 恵美



三佐 (熊本) 真崎 哲也



一尉 (小牟) 栗野 晃光



一曹 栗原 浩介



二尉 (別府) 友永 真須雄



曹長 (飯塚) 山籠 星隆



一曹 (福岡) 古庄 輝雄



士長 (飯塚) 日浦 真輝



二佐 (自選) 井上 隆



二尉 (富士) 附田 純一



三曹 (富士) 出口 晋大



三曹 (自選) 原 理沙



一尉 (自選) 米倉 美智男



一尉 (熊本) 手嶋 勝洋



一尉 (熊本) 玉井 慎太郎



二曹 (熊本) 清田 時生



二曹 (相浦) 原 博則



二曹 (福岡) 橋本 哲也



三曹 (仙台) 森下 ユキ



三曹 (富士) 安永 光宏



三尉 (小牟) 後藤 博志



准尉 (小牟) 内田 孝一



一曹 (小牟) 戸澤 一郎



一曹 (飯塚) 潮川 達郎



二曹 (飯塚) 桑原 正樹



二曹 (飯塚) 多嘉良一徳



二曹 (飯塚) 中島 潔



二曹 (飯塚) 川上 貴史



三曹 (湯布院駐屯地業務隊) 蛇原 稔彦



士長 (飯塚) 下吉 未佳



二尉 (自選) 原 計吾



三尉 (日本) 立川 直樹



三尉 (熊本) 三ヶ尻 和也



三尉 (熊本) 大川 真嗣



一曹 (自選) 佐々木 作雄



二曹 (飯塚) 重松 勝秀



二曹 (飯塚) 河野 晃治



三曹 (飯塚) 尾崎 敏朗



三曹 (自選) 福井 総



二尉 (小牟) 柴田 有望



二曹 (飯塚) 村上 俊助



二尉 (別府) 岩尾 幹史



一曹 (大分) 神田 邦夫



一曹 (自選) 荒木 泰彦



准尉 (自選) 斎藤 賢孝



曹長 (湯布院) 林田 育子

転出者の紹介

第三六八施設中隊 (大村)

第三〇二観測中隊 (飯塚)

第三〇四基地通信中隊 (熊本)

第一〇三施設 直接支援中隊 (大分)

第一〇三施設 直接支援中隊 (小牟)

第三〇二観測中隊 (飯塚)

第一〇三施設 直接支援中隊 (飯塚)

第一〇三施設 直接支援中隊 (飯塚)

第一〇三施設 直接支援中隊 (飯塚)

特科隊本部 (飯塚)

特科教導隊 (飯塚)

特科教導隊 (飯塚)

特科教導隊 (飯塚)

特科隊本部 (熊本)

特科教導隊 (飯塚)

特科教導隊 (飯塚)

特科教導隊 (飯塚)

特科教導隊 (飯塚)

特科教導隊 (飯塚)

本部中隊 (鳥栖)

本部中隊 (飯塚)

本部中隊 (飯塚)

本部中隊 (飯塚)

本部中隊 (飯塚)

本部中隊 (飯塚)

本部中隊 (飯塚)

本部中隊 (飯塚)

本部中隊 (飯塚)

本部中隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (以珠)

第一二二特科大隊 (以珠)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第四特科連隊 (久留米)

第四特科連隊 (飯塚)

第四特科連隊 (飯塚)

第四特科連隊 (飯塚)

第四特科連隊 (飯塚)

第四特科連隊 (飯塚)

第四特科連隊 (飯塚)

第四特科連隊 (飯塚)

第四特科連隊 (飯塚)

第四特科連隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (小牟)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第一二二特科大隊 (飯塚)

第五施設団 (小牟)

第五施設団 (飯塚)

第五施設団 (飯塚)

第五施設団 (飯塚)

第五施設団 (飯塚)

第五施設団 (飯塚)

第五施設団 (飯塚)

第五施設団 (飯塚)

第五施設団 (飯塚)

第五施設団 (飯塚)